

平成 28 年度 第 1 回環境水理部会 議事メモ

日時：9月8日（木）12：00～13：00

場所：仙台国際センター 会議棟 1階小会議室 1（第71回土木学会年次学術講演会）

出席者：赤堀（愛工大），赤松（山口大），大石（土研，□），大槻（土研），大橋（玉野コン），櫻井（土研），鈴木(伴)（八千代エンジ），田代（名大，□），都築（リバフロ），鶴田（建技研），宮本（芝工大，◎），矢島（鳥取大，○），矢野（九大）
（以上 13 名．敬称略．五十音順．◎部会長，○副部会長，□幹事）

1. 審議事項

1) 研究集会（宮本部会長）

- ・齋田委員（鹿児島大）をホスト役に，鹿児島での実施を検討したいとする原案が紹介され，これが承認された。

2) ホームページリニューアル（大槻委員，別紙参照）

- ・ホームページ作成，管理をリニューアルする方針，準備状況について説明があり，承認された。

- ・現行 HP と同じような内容の閲覧が可能。新サイトでは，更新，管理がより簡易になる予定。ブログのような形式で更新可能で引き継ぎの際の煩雑な作業が軽減される。

- ・現在利用しているサイトを移行するのが少々煩雑なため，旧ページは原則として現状のまま，保存することとする。

- ・今後，会員ページを作成することが可能。作成希望者は，HP 担当の大槻委員まで申し出る。

- ・「年に数回ほど写真や文章を利用したいとの要望があるので，旧ファイルも残しつつ徐々に移行していくのが良い」とする意見があった。

2. 報告事項

1) 新規オブザーバーについて（宮本部会長，別紙）

- ・吉川氏（北見工大），牧野氏（東北大），片岡氏（東理大），大久保氏（滋賀県大）が加入される旨，紹介があった。合わせて，内規（別紙）の確認がなされた。

- ・オブザーバーについては，増員可能なため，推奨したい場合には部会長まで申し出る。

2) 水工学委員会（2016.07.11）報告（宮本部会長，別紙）

- ・別紙に基づいて，水工学委員会での審議事項の紹介があった。具体には，次の通り。

本年度第 61 回水工学講演会（3/15-17）は九大で準備中，次年度第 62 回は 2018/3/5-7

にて岡山大にて実施見込み、平成 29 年度水シンポは沖縄で実施にて分科会は河川部会担当、土木学会論文集にて特集号創設など論文数向上を目指した試みが検討中、平成 29 年度夏季研修会は海岸工学委員会（阪大・荒木先生 - 近大・竹原先生／阪大・入江先生）担当により準備中。水工学論文集の書式が土木学会論文集通常号と統一される。

・今次全国大会では、中北先生（水工学委員長）がオーガナイザーとする気候変動への適応に関する研究会が開かれ、水工学委員会が主体的に参加して議論があった。中北先生からは、2017 年 4 月に WRaH が韓国で開催予定である旨、紹介された。

3) ワーキンググループ活動報告（別紙）

・閉鎖性水域 WG（矢島副部長）、樹林化 WG（赤松委員）、温暖化適応 WG（矢野委員）、教科書英文化 WG（矢野委員）により、活動状況および今後の活動予定などについて報告があった。

・樹林化 WG のとりまとめは、次年度を予定している旨、紹介があった。

・閉鎖性水域 WG については、応用生態工学会広島と連携してジョイントシンポジウム（10/14）を実施することがチラシを用いて周知された。

・教科書英文化 WG については、九大の助成を利用しての英訳が一部外注で実施され、今後も引き続き行っていく方針が紹介された。各章の主査には監修をお願いしたい旨、依頼予定であることが報告された。最終版は web 公開を予定している。

4) 河砂技術基準（調査編）意見交換会（環境 WG）

・9/2, 応用生態工学会全国大会における自由集会として実施された旨、紹介があった。

9 月中を目途に、河川環境分野における新技術について情報提供依頼があった。技術基準に採録されるレベルを念頭に協力をお願いしたい。

・これまで、応用生態の全国大会、水工学講演会など、年 2 回の頻度で実施し、3 年目の活動に入ってきたが、今後は頻度を減らしながら、必要に応じたメンバー召集がある見込み。

3. その他

1) 水工学委員長より流砂関係の国際会議参画（主催）希望の有無の照会があった旨、部長より照会があった。議論の結果、土砂動態は環境水理にも重要なトピックスだが、どちらかというとなら基礎的な内容なので当面は希望しないという意見が多く、その方向で回答することになった。

2) 本年度の研究集会 in 香川では、82 名（うち学生 26 名）の参加があり、発表 31 件、特別講演（香川大学農学部・多田邦尚教授）を含め、盛会であった旨、報告があった。若手アピールとしてナイトセッションが企画されるなど、多様な話題があった。

以上